

第6回

全日本業界団体連盟 大會



(大山祇神社) 赤糸威鎧

主催　日本実業団体連盟
後援　新聞連盟
全朝日本道連
全国東京道連
東関東道連
主管　日本都道連
日本実業団道連
日本道連
東京道連
東京道連
東京道連

とき 昭和38年9月29日 午前9時 ところ 東京・両国 日大講堂

大 会 次 第

◇ 開

会

式

九・〇〇・九・四〇

◇ 閉

会

式

九・〇〇・九・四〇

◇ 団

体 試 合

九・五〇・一七・三〇

- | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 回戦から四回戦迄 | (6試合場) | | | | | | | | | | | | |
| 五回戦 | (4試合場) | | | | | | | | | | | | |
| 準決戦 | (2試合場) | | | | | | | | | | | | |
| 決勝戦 | (1試合場) | | | | | | | | | | | | |

※特別演技として右の試合中適宜な時に居合および特別試合を行なう豫定

◇ 閉

会

式

一七・四〇・一八・〇〇

- | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|------|----|---------|-------|------|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 7 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 役員選手整列 | 成績発表 | 表彰 | 大会副会長挨拶 | 国旗に敬礼 | 閉会の辞 | 退場 | | | | | | | |

明るい阪急 楽しい阪急
楽しさひろがる お買物



阪急

大阪梅田・阪急百貨店
神戸三宮・阪急神戸支店
東京・阪急大本店
東京・新宿屋橋阪急
アメリカ・ロスアンゼルス阪急

挨拶

全日本実業団剣道連盟

会長

矢野一元



ここに第六回全日本実業団剣道大会を、かくも盛大に開催することが出来ましたことを、皆様と共に衷心より慶ぶ次第であります。参加団体の熱意は年々高まる一方であり、又一般世人の関心も非常に強くなつて来たことは、日本剣道の為に誠に御同慶に堪えません。

古来から精錬された我国の誇るべき国技である剣道が、如何に立派な社会人をつくる為に優れたものであるかは、漸く現代人の認識を得るようになって来ましたが、昨今急に東洋の精神文化を探る外国人の間に、特に剣道に対する研究熱が起つて来たことは、大いに注目すべきことであつて、しかも、彼等の関心が、スポーツとしての技であるのではなくて、身心両面の鍛錬を兼備した人づくりの道としての探究にあることを考えますと、我々日本人は今のうちに是非共剣道の真髓をつかんで置かなければ、外国人に笑われるのではないかと思ひます。

終戦後は一時スポーツ的な表現を装つて、辛うじて命脈をつないだ時代もありましたが、今は追々とあるべき姿に復りつることは欣ばしいことであります。我々の時代には非共この剣道を最もすぐれた

ものに築き上げたいものであります。

言うまでもなく剣道修行の真諦は心の修行であります。剣の技の美しさというものは、即ち心の美しさであります。技巧だけを凝らした技は、いくら形は美しくても、何か物足りないものであることは、苟しくも少し剣を学んだ者ならば、ひとしく感じることであります。誰しも一応の技を学んだ上は、之を心の技にする稽古を心掛けなければなりません。きびしく言うならば、本来の剣道へは、ここで始めで入門するということであります。

心の出来た人の剣は、たとえ腰は曲り腕は伸びなくても、美しいものです。それはその人の心そのものの表現であるからです。こうした剣道を身につけた社会人は、一挙一動、一言一行に、美しい剣と同じものを見せるようになります。行住坐臥、常に剣心に住むという人間になれるものです。唯その心が怠りがちにならぬ為には、たとえ一本でも稽古をつづけたいものです。

毎年一回、全国に跨る同学同心の人々が一堂に会する大会は、決して勝負を争う場所ではありません。各自の人柄を示し合つて、相互に啓発し、互いに親しみ合う為の会合であります。私共も亦、選士諸君が日頃鍛成されている立派な心技を見、人柄に接することに、無限の楽しさを持つものであります。

心の剣道。これこそ社会人剣道の真髓であるということを繰返して、選士諸君の精進を祈る次第であります。

終りに臨み、本大会開催の為に、いつも乍ら全日本剣道連盟並びに朝日新聞社より絶大な御後援を頂きましたことを感謝致しますと共に審判諸先生、役員諸氏の御尽力と御労苦に対しても厚く御礼申上げます。

大会役員

順不同・敬称略

名譽顧問

卷之三

卷之三

菊水テープ製造株式会社
久保田鉄工株式会社
倉敷レーヨン株式会社
吳造船株式会社
東邦紡績株式会社
社長 小田原 大造
社長 大原 総一郎
社長 正木 武雄
社長 木村 三郎

内閣總理大臣池田勇人
通商産業大臣福田一
日本武道館會長正力松太郎
全日本劍道連盟會長木村篤太郎
東洋レーヨン株式会社相談役森順造
朝日新聞社取締役社長半島彥彦
、村山長拳

阪急百貨店株式会社	住友化学工業株式会社	三菱地所株式会社	三菱養和会	名古屋鉄道株式会社	南海放送株式会社	日本軽金属株式会社	日本鉱業株式会社	株式会社紀長伸銅所	株式会社三井銀行	大西酒造株式会社	小西酒造株式会社
社長	副社長	副社長	理事長	社長	社長	社長	社長	社長	常務	専務	専務
大野孝	大谷一雄	宮田正男	武藤秀三	土川元夫	中山義貞	安田幾久男	河合堯	佐藤貢	武三郎	玉幸藏	貫二郎
矢野一郎	会長	会長	三	元	中	田	堯	貢	三郎	幸	二郎

川鉄商事株式会社	専務	松本敏	大
大辻炭礦株式会社	常務	小沢 親	半
朝日新聞東京本社	常務	矢島 八洲	吉
朝日新聞大阪本社	常務	増田 豊	高
朝日生命保険相互会社	会長	藤川 城	一郎
朝日生命保険相互会社	社長	春山 宗	三郎
朝日石綿工業株式会社	社長	近藤 進一郎	三郎
旭硝子株式会社	社長	森 本 貴	一郎
旭化成工業株式会社	社長	宮崎 信	一郎
安宅産業株式会社	社長	猪崎 久太郎	三郎
味の素株式会社	社長	豊島 道	一郎
	副社長	澤田 面	一郎

菊水テープ製造株式会社	社長	西沢 裕次郎
久保田鉄工株式会社	社長	小田原 大造
倉敷レーヨン株式会社	社長	大原 総一郎
吳造船株式会社	社長	正木 武雄
京阪神急行電鉄㈱	社長	小林 米三
小西酒造株式会社	社長	小西 新右衛門
株式会社神戸製鋼所	社長	外島 健吉
株式会社神戸銀行	頭取	岡崎 忠
江商株式会社	社長	桑原 喜代藏
株式会社高陽鉄工所	社長	古閑 幸平
株式会社講談社	社長	野間省一
新三菱重工業株式会社	社長	荒木 晃
株式会社シモン	社長	藤井深造
株式会社島津製作所	社長	利岡 和人
株式会社四国自動車部品商会	社長	木庸輔
敷島紡績株式会社	社長	鈴木 康雄
清水建設株式会社	社長	大波信夫
芝浦精糖株式会社	社長	白石重保
昭和電工株式会社	社長	賀国威
昭和冷熱工業株式会社	社長	安室
住友海上火災保険㈱	社長	西正夫
住友商事株式会社	社長	周次郎
株式会社鈴江農機製作所	社長	久次郎
積水化学工業株式会社	社長	与次郎
ゼネラル物産株式会社	社長	泰次郎
森下仁丹株式会社	社長	幸雄

大成建設株式会社	社長	本間嘉平
第一生命保険相互会社	取締役	鈴木孝太郎
株式会社高島屋	社長	浜口吉兵衛
高崎製紙株式会社	社長	飯田新一
武田薬品工業株式会社	社長	武田長兵衛
千代田化工建設株式会社	社長	小川三郎
第一証券株式会社	社長	塚本義平
千代田化工建設株式会社	社長	玉置明善
塚本總業株式会社	社長	塚本基
塚本總業株式会社	社長	塚本素山
東洋レーヨン株式会社	社長	塚本廣三郎
株式会社電通	社長	日比野恒次
株式会社東横	社長	大谷知昇
株式会社東横	常務	狩谷幸知
戸田建設株式会社	専務	森石丸正名
東京芝浦電気株式会社	社長	田下亮三郎
東芝商事株式会社	社長	河原亮三郎
東京急行電鉄株式会社	社長	島五島昇
東京瓦斯株式会社	社長	岩下文雄
東部通信工業株式会社	社長	田中亮三郎
東京電力株式会社	社長	木川田一郎
東京電力株式会社	社長	木川田一
凸版印刷株式会社	取締役	古閑幸平
東洋高圧工業株式会社	社長	木川田一
凸版印刷株式会社	取締役	木川田一
トヨタ自動車工業株式会社社長	中川俊夫	山村英二
東京日野モーター株式会社社長	中川不器男	山村三郎太

日立造船株式会社	社長	松方正信
株式会社P・L・ゴルフ場	社長	永田敬生
株式会社富士銀行	頭取	岩村佐凱
富士重工業株式会社	社長	雄志
古河鉱業株式会社	社長	田信夫
古河電気工業株式会社	取締役	原良一郎
株式会社藤田組	社長	清植
株式会社平和相互銀行	社長	藤田一
本州製紙株式会社	社長	小宮山英藏
丸善石油株式会社	社長	木下又三郎
松下電器産業株式会社	常務	又三郎
株式会社松尾製作所	社長	久
株式会社三井銀行	社長	柳満珠
株式会社三井銀行	常務	柳雄
三井精機株式会社	社長	多羅尾次郎
三井精機株式会社	常務	柳昭次
三井金属鉱業株式会社	社長	高玉幸
株式会社三菱銀行	頭取	藏
三井商事株式会社	社長	柳昭次
三菱造船株式会社	社長	郎俊
三井金属鉱業株式会社	社長	柳昭次
三菱地所株式会社	社長	宇佐美
三菱化成工業株式会社	社長	渡辺尚
三菱金属鉱業株式会社	社長	佐藤清
三井鉱山株式会社	社長	柴田彦
三菱化成㈱黒崎工場	社長	岩崎清
三菱化成㈱黒崎工場	次長	栗木彦
三菱製鋼株式会社	社長	高口吉
三菱化成㈱黒崎工場	次長	木口政俊
三井鉱山株式会社	社長	幹夫規
三菱化成工業株式会社	社長	林郁夫
三菱化成工業株式会社	社長	李家孝

阿安安松本長中鶴玉鈴鈴佐佐工加長小小飯伊伊大池高小堀

谷士

部藤堂本間川野見利木木原藤藤藤田柳川田東藤野田野川口

三 敏七平八岩嘉恒幾 文為 政昌祐雅操 孫忠

1

一 二 太

郎謙進夫郎記二夫章雄雄勇顕一一吉敏之隆藏二郎孝郎郎清

審判員

森三佐小越近

角藤野川藤

(五十音順)

正卯卯十秀知

—

善介牛吉郎紳

蝴蝶判用

株式会社	名鉄百貨店	社長	佐藤	英雄
株式会社	明電舎	社長	重宗	雄三
八幡製鉄株式会社		社長	稻山	嘉寛
八幡製鉄	光製鉄所	所長	西郷	吉郎
八歐電機株式会社		社長	八尾	敬次郎
安田火災海上保険株式会社	社長	三好	武夫	
安田生命保険相互会社	社長	竹村	吉衛門	
幡山本海苔店	社長	中山	本惠	造
山一証券株式会社	社長	大神	一	
横浜護謨製造株式会社	社長	中根	孝	
レナウン商事株式会社	社長	本間	良雄	
雪印物産株式会社	社長	下斗米	安藏	
若林電気株式会社	社長	若林	信太郎	

湯望森村松丸逸楳針長高須鈴中棚須鈴清島榎佐佐近河川片岡荻緒小小大大伊石

久 久 夕

野月島上尾山見山金嶺島村谷田沢郷木木木水田原本間藤島原桐田野方沢川谷平保保田

正健直義和唐光昌太政米守喜利三二大昌惟委正太信清一

次一 三

靈房男次夫一夫昇夫稔吉郎美信三智一溫治郎郎正朗郎雄蔚郎七鑑雄敏雄臺庶康夫次郎

M E M O

補言

四

永次

十郎

名 鉄 百 貨 店

朝日新聞(大阪)

日興証券

日電玉川

南光印刷

監督	四段	中川武徳	
大将	五段	和田伊功	32 30
副将	四段	山崎正一	27
中堅	二段	田中九洲男	31
次鋒	一段	鴨下護	21
先鋒	一段	日恵野勝治	19
補欠	二段	久納勤	19

副将	五段	太郎	監督
大将	七教	近藤晋一郎	西殿太郎
副将	五鉢	川畑俊夫	48 53
中堅	四段	昭成	40
次鋒	三段	市原貞夫	34
先鋒	二段	由晴	34
補欠	一段	博義	32

副将	六段	季吉	監督
大将	五段	森本征昭	伊得季吉
副将	五鉢	好夫	昭成
中堅	四段	正修	58
次鋒	三段	博貴	25
先鋒	二段	和貴	20
補欠	一段	大貴	38

大将	四段	美力	監督
副将	二段	高橋正治	41
中堅	二段	根本喜代孝	26
次鋒	二段	高橋弘治	20
先鋒	一段	大橋正勝	22
補欠	一段	子正	22

大将	五段	嘉勇	監督
副将	四段	市川新	44
中堅	三段	山崎41	41
次鋒	三段	石田20	41
先鋒	二段	後藤直行	22
補欠	一段	大橋捷男	20

監督	五段	和田伊功	
大将	三段	中川武徳	30
副将	二段	田崎正一	27
中堅	一段	山崎正一	27
次鋒	一段	鴨下護	21
先鋒	一段	日恵野勝治	19
補欠	二段	久納勤	19

副将	七教	近藤晋一郎	監督
大将	五鉢	川畑俊夫	48 53
副将	五鉢	昭成	40
中堅	四段	市原貞夫	34
次鋒	三段	由晴	34
先鋒	二段	博義	32
補欠	一段	大貴	38

副将	六教	伊得季吉	監督
大将	五段	森本征昭	昭成
副将	五鉢	好夫	24
中堅	四段	正修	58
次鋒	三段	和貴	20
先鋒	二段	大貴	38
補欠	一段	子正	22

副将	七教	鈴木重男	監督
大将	六鉢	高橋一義	41
副将	六鉢	正治	26
中堅	五段	高橋弘治	20
次鋒	四段	高橋正勝	22
先鋒	三段	大橋捷男	20
補欠	一段	子正	22

副将	七段	山崎嘉一	監督
大将	五段	市川新	44
副将	五鉢	橋口彦41	41
中堅	四段	山崎嘉一	41
次鋒	三段	石田正吉	38
先鋒	二段	大橋捷男	20
補欠	一段	後藤直行	22

日立国分

倉敷レーヨン(岡山)

住友化学(菊本)

シモジ

高崎製紙

監督	五段	和田伊功	
大将	三段	中川武徳	30
副将	二段	田崎正一	27
中堅	一段	鴨下護	21
次鋒	一段	日恵野勝治	19
先鋒	一段	久納勤	19
補欠	二段	大貴	38

副将	七段	近藤晋一郎	監督
大将	五鉢	川畑俊夫	48 53
副将	五鉢	昭成	40
中堅	四段	市原貞夫	34
次鋒	三段	由晴	34
先鋒	二段	博義	32
補欠	一段	子正	22

副将	六教	伊得季吉	監督
大将	五段	森本征昭	昭成
副将	五鉢	好夫	24
中堅	四段	正修	58
次鋒	三段	和貴	20
先鋒	二段	大貴	38
補欠	一段	子正	22

副将	七教	鈴木重男	監督
大将	六鉢	高橋一義	41
副将	六鉢	正治	26
中堅	五段	高橋弘治	20
次鋒	四段	高橋正勝	22
先鋒	三段	大橋捷男	20
補欠	一段	子正	22

副将	七段	山崎嘉一	監督
大将	五鉢	市川新	44
副将	五鉢	橋口彦41	41
中堅	四段	山崎嘉一	41
次鋒	三段	石田正吉	38
先鋒	二段	大橋捷男	20
補欠	一段	子正	22

監督	五段	和田伊功	
大将	三段	中川武徳	30
副将	二段	田崎正一	27
中堅	一段	鴨下護	21
次鋒	一段	日恵野勝治	19
先鋒	一段	久納勤	19
補欠	二段	大貴	38

副将	七教	近藤晋一郎	監督
大将	五鉢	川畑俊夫	48 53
副将	五鉢	昭成	40
中堅	四段	市原貞夫	34
次鋒	三段	由晴	34
先鋒	二段	博義	32
補欠	一段	子正	22

副将</td

東洋レーヨン滋賀

三菱地所

住友化学新居浜

旭硝子鶴見工場

東芝本社

監督	七教	野口	英夫	52
大将	六鍊	白井	教雅	26
副将	五段	戸田	忠男	24
中堅	五段	柴田	英一郎	23
次鋒	三段	横田	秀公	照雄
先鋒	二段	松崎	中道	忍
補欠	三段	中	道	21

監督	五段	河野	吉通	34
大将	三段	河田	美喜男	37
副将	三段	小林	芳之助	42
中堅	四段	秀夫	21	37
次鋒	五段	正岡		
先鋒	二段	山崎		
補欠	三段	小泉	浩三	20

監督	六鍊	日野	監督	50
将大	六教	浜野	清一郎	45
副将	五段	山中	満徳	50
中堅	六教	高橋	一郎	50
次鋒	六教	永易	玉一郎	45
先鋒	五鍊	石益	強	37
補欠	六教	白石	益一郎	39

監督	六鍊	八巻	丑蔵	54
将大	五段	本間	代午郎	43
副将	五段	間代	午郎	43
中堅	五段	吉見	弘	36
次鋒	五段	菅原	38	43
先鋒	三段	吉澤	35	43
補欠	三段	渡部	見	38

監督	七教	野口	英夫	52
大将	六鍊	白井	教雅	26
副将	五段	戸田	忠男	24
中堅	五段	柴田	英一郎	23
次鋒	三段	横田	秀公	21
先鋒	二段	松崎	中道	19
補欠	三段	中	道	21

監督	七教	野口	英夫	52
大将	六鍊	白井	教雅	26
副将	五段	戸田	忠男	24
中堅	五段	柴田	英一郎	23
次鋒	三段	横田	秀公	21
先鋒	二段	松崎	中道	19
補欠	三段	中	道	21

監督	二段	木下	喜夫	48
大将	五鍊	福山		
副将	五鍊	浅野		
中堅	五段	廣田		
次鋒	五段	川瀬		
先鋒	四段	山崎		
補欠	三段	花崎		

監督	二段	木下	喜夫	48
大将	五鍊	福山		
副将	五鍊	浅野		
中堅	五段	廣田		
次鋒	五段	川瀬		
先鋒	四段	山崎		
補欠	三段	花崎		

監督	二段	木下	喜夫	48
大将	五鍊	福山		
副将	五鍊	浅野		
中堅	五段	廣田		
次鋒	五段	川瀬		
先鋒	四段	山崎		
補欠	三段	花崎		

監督	二段	木下	喜夫	48
大将	五鍊	福山		
副将	五鍊	浅野		
中堅	五段	廣田		
次鋒	五段	川瀬		
先鋒	四段	山崎		
補欠	三段	花崎		

阪急百貨店

新三国菱神戸

石川島播磨重工

日野自動車

トヨタ自動車

監督	七教	野口	英夫	52
大將	六鍊	白井	教雅	26
副將	五段	戸田	忠男	24
中堅	五段	柴田	英一郎	23
次鋒	五段	横田	秀公	21
先鋒	四段	松崎	中道	19
補欠	三段	中	道	21

監督	二段	木下	喜夫	48
大將	五鍊	福山		
副將	五鍊	浅野		
中堅	五段	廣田		
次鋒	五段	川瀬		
先鋒	四段	山崎		
補欠	三段	花崎		

監督	二段	木下	喜夫	48
大將	五鍊	福山		
副將	五鍊	浅野		
中堅	五段	廣田		
次鋒	五段	川瀬		
先鋒	四段	山崎		
補欠	三段	花崎		

監督	二段	木下	喜夫	48
大將	五鍊	福山		
副將	五鍊	浅野		
中堅	五段	廣田		
次鋒	五段	川瀬		
先鋒	四段	山崎		
補欠	三段	花崎		

監督	二段	木下	喜夫	48
大將	五鍊	福山		
副將	五鍊	浅野		
中堅	五段	廣田		
次鋒	五段	川瀬		
先鋒	四段	山崎		
補欠	三段	花崎		

亞細亞石油

日本生化

南海電鉄

東京ガス

トヨタ自動車

監督	五教	佐々木	祐治	44
大將	六鍊	大和	治	22
副將	五段	中	治	23
中堅	五段	水	治	23
次鋒	五段	藤	治	24
三段	四段	田	治	25
次鋒	三段	森	治	26
三段	三段	森	治	27
三段	三段	佐々木	英治	28
三段	三段	佐々木	義夫	29

明電舎

山本海苔店

新三菱重工名古屋

片岡電気

講談社

監督	四段	尾上政美	49
大将	六教	竹田伊治郎	40
副将	五鍊	田中松治	40
中堅	四段	佐山根静	34
次鋒	三段	真鍋誠治	22
先鋒	二段	鍋田重仁	32
補欠		佐藤和誠	32

監督	四段	尾上政美	49
大将	六教	竹田伊治郎	40
副将	五鍊	田中松治	40
中堅	四段	佐山根静	34
次鋒	三段	真鍋誠治	22
先鋒	二段	鍋田重仁	32
補欠		佐藤和誠	32

監督	六鍊	金子成克	45
大将	六鍊	村上鐵	38
副将	四段	木成俊	42
中堅	五段	木成俊	42
次鋒	四段	木成俊	42
先鋒	四段	木成俊	42
補欠		木成俊	42

監督	七教	侯野武生	53
大将	六鍊	白石紘一郎	24
副将	五鍊	白石紘一郎	24
中堅	三段	白石紘一郎	24
次鋒	四段	竹下和人	23
先鋒	三段	竹下和人	23
補欠		竹下和人	23

監督	六教	渡辺礼輔	48
大将	四段	山下義次	22
副将	四段	山下義次	22
中堅	四段	山下義次	22
次鋒	三段	杉井茂	42
先鋒	三段	杉井茂	42
補欠		杉井茂	42

監督	七教	高橋武司	54
大将	五鍊	森永隆治	43
副将	五鍊	森永隆治	43
中堅	四段	森永隆治	43
次鋒	三段	東条光	43
先鋒	三段	東条光	43
補欠		東条光	43

監督	五教	宮本健次	41
大将	六鍊	高山猛雄	38
副将	五鍊	木山善実	40
中堅	四段	岩崎久男	43
次鋒	三段	鶴野聰	42
先鋒	三段	鶴野聰	42
補欠		鶴野聰	42

監督	六鍊	金子成克	45
大将	六鍊	村上鐵	38
副将	四段	木成俊	42
中堅	五段	木成俊	42
次鋒	四段	木成俊	42
先鋒	四段	木成俊	42
補欠		木成俊	42

監督	七教	侯野武生	53
大将	六鍊	白石紘一郎	24
副将	五鍊	白石紘一郎	24
中堅	三段	竹下和人	23
次鋒	四段	竹下和人	23
先鋒	三段	竹下和人	23
補欠		竹下和人	23

監督	六教	渡辺礼輔	48
大将	四段	山下義次	22
副将	四段	山下義次	22
中堅	四段	山下義次	22
次鋒	三段	杉井茂	42
先鋒	三段	杉井茂	42
補欠		杉井茂	42

監督	七教	高橋武司	54
大将	五鍊	森永隆治	43
副将	五鍊	森永隆治	43
中堅	四段	森永隆治	43
次鋒	三段	東条光	43
先鋒	三段	東条光	43
補欠		東条光	43

監督	五教	宮本健次	41
大将	六鍊	木山善実	38
副将	五鍊	木山善実	38
中堅	四段	岩崎久男	43
次鋒	三段	鶴野聰	42
先鋒	三段	鶴野聰	42
補欠		鶴野聰	42

日本郵船

東横

安宅産業東京支店

川鉄千葉製鉄所

三菱商事

(10)

三井銀行

レナウン商事

日本銀行

宇部興産

鈴江農機東京

(11)

住友商事

監督	五段	奥田昭三
大将	三段	大西吉武
副将	四段	内彌
中堅	三段	谷田伸正
次鋒	二段	高島孟昭
先鋒	二段	中村21
補欠	二段	武田26
次鋒	二段	伸正弘
中堅	三段	岬25
大将	三段	昭三51

八幡製鉄

監督	六鍊	坂口松次
大将	七教	佐伯太郎
副将	七教	天野昌威
中堅	七教	白井士郎
次鋒	五段	神廣也
先鋒	五段	山下22
補欠	五段	智38
次鋒	五段	民35
中堅	三段	松也22
大将	四段	次鋒52

日立造船築港

監督	七教	吉岡四郎
大将	七教	吉岡四郎
副将	七教	吉岡四郎
中堅	三段	吉也
次鋒	三段	山田35
先鋒	二段	木村22
補欠	二段	矢野忠
次鋒	三段	山田20
中堅	三段	山田38
大将	四段	正47

安田火災

監督	六教	岩田長
大将	六教	石崎和
副将	五教	榎本巖
中堅	三段	柴田男
次鋒	三段	田崎正
先鋒	二段	尾関43
補欠	二段	木松43
次鋒	三段	田崎39
中堅	三段	田崎39
大将	四段	次鋒50

日通本社

監督	五段	山田浩
大将	五段	松華41
副将	五段	和田彦
中堅	五段	大津降彦
次鋒	四段	和田浩
先鋒	五段	藤上25
補欠	四段	熊谷25
次鋒	三段	北野一義
中堅	三段	大津25
大将	四段	和田25

東洋レーヨン(愛知)

監督	六教	大西吉武
大将	六教	内彌
副将	六教	谷田伸正
中堅	五段	正弘
次鋒	二段	高島19
先鋒	二段	中村21
補欠	二段	武田19
次鋒	二段	伸正弘
中堅	三段	岬25
大将	三段	昭三51

旭化成(延岡)

監督	九段	近藤善
大将	六教	鈴木種
副将	六教	近藤常
中堅	五段	郎
次鋒	二段	次51
先鋒	二段	福嘉42
補欠	二段	大嘉26
次鋒	二段	甲斐42
中堅	四段	斐富26
大将	六鍊	嘉博22

横浜ゴム

監督	七教	杉田製線
大将	七教	渡辺7教
副将	七教	片桐5鍊
中堅	五鍊	生稻7教
次鋒	三段	渡辺6鍊
先鋒	二段	辺嘉26
補欠	三段	辺誠20
次鋒	三段	辺利38
中堅	五段	辺進30
大将	六鍊	辺吉30

第一生命

監督	四段	川鉄建材
大将	四段	中尾2教
副将	四段	河原3段
中堅	三段	小川2教
次鋒	三段	河原3段
先鋒	二段	河原3段
補欠	三段	河原23
次鋒	三段	河原23
中堅	五段	河原23
大将	六鍊	河原23

住友化学(大阪)

監督	五段	本州製紙(江戸川)
大将	六教	佐々木5鍊
副将	六鍊	山田丸21
中堅	五鍊	田合36
次鋒	五段	平井21
先鋒	四段	池田36
補欠	三段	大里21
次鋒	三段	吉原21
中堅	四段	嘉徳21
大将	五鍊	庄徳21

東芝三重

監督	五段	東芝三重
大将	五段	大津降彦
副将	五段	和田浩
中堅	五段	藤上25
次鋒	四段	熊谷25
先鋒	三段	北野一義
補欠	三段	北野25
次鋒	三段	和田25
中堅	四段	大津25
大将	五鍊	和田25

日本軽金属

監督	六鍊	シモン板橋
大将	六鍊	久27
副将	六鍊	教42
中堅	五鍊	鍊77
次鋒	四段	27
先鋒	三段	22
補欠	三段	22
次鋒	三段	22
中堅	五鍊	22
大将	六鍊	22

名古屋建設

監督	五段	名古屋建設
大将	五段	今吉37
副将	五段	吉清37
中堅	五段	公博37
次鋒	四段	22
先鋒	三段	22
補欠	三段	22
次鋒	三段	22
中堅	五段	22
大将	六鍊	22

朝日生命本店

監督	六鍊	平和相互本店
大将	六鍊	持田22
副将	六鍊	戸田22
中堅	六鍊	田中22
次鋒	五段	22
先鋒	三段	22
補欠	三段	22
次鋒	三段	22
中堅	三段	22
大将	六鍊	22

大阪菊水テープ

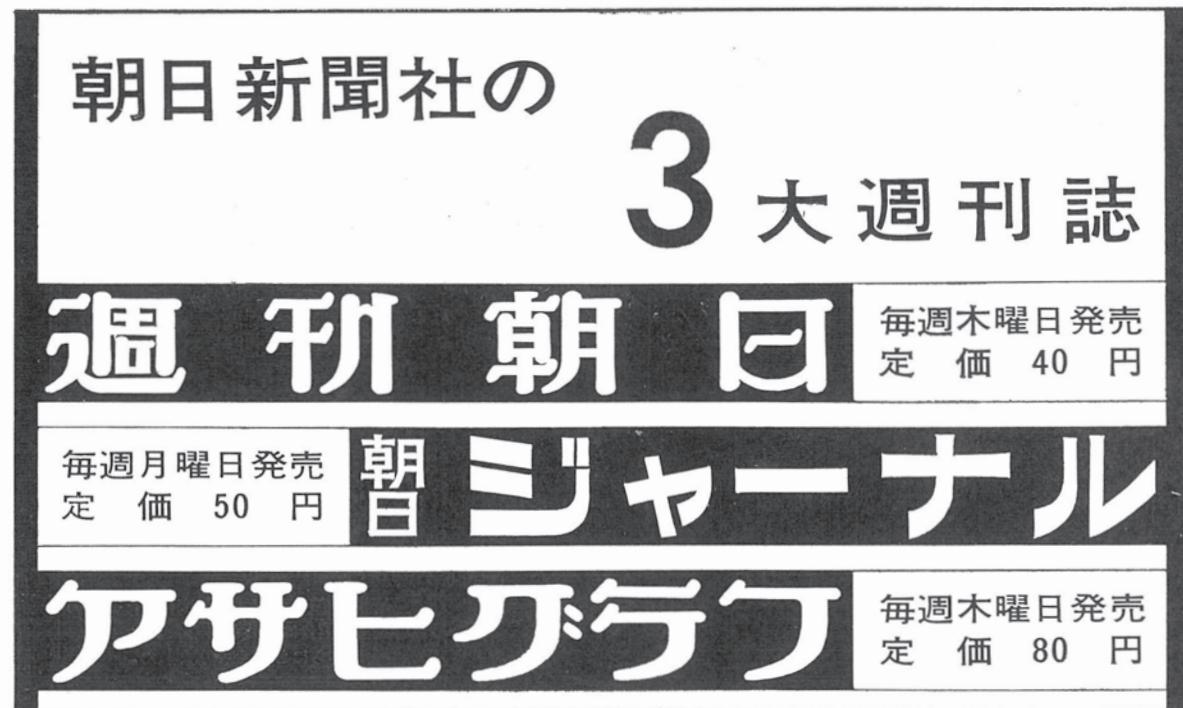
監督	五段	富士銀行
大将	五段	高橋5鍊
副将	五段	須藤5鍊
中堅	五段	藤高5鍊
次鋒	四段	23
先鋒	三段	23
補欠	三段	23
次鋒	三段	23
中堅	五段	23
大将	六鍊	23

三菱化成工業黒崎

監督	七教	三菱化成工業黒崎
大将	七教	西澤5鍊
副将	七教	留五郎44
中堅	五段	次男44
次鋒	四段	23
先鋒	三段	23
補欠	三段	23
次鋒	三段	23
中堅	五段	23
大将	六鍊	23

(13)

古河電工



過ぎしの輝かしい戦績

第1回 於 東京都中央道場

優勝 東洋レーヨン名古屋 二位 三井金属三池 三位 旭化成延岡
日本通運

優 勝

第2回 於 大阪市立体育馆

優勝 東洋レーヨン名古屋 二位 九州電力 三位 平和相互銀行(巣鴨)
西日本相互銀行

決勝戦

第3回 於 名古屋金山体育馆

優勝 東洋レーヨン愛知 二位 東洋レーヨン滋賀 三位 百貨店東横
川鉄商事

準決勝戦

第4回 於 東京都日大講堂

優勝 東洋レーヨン滋賀 二位 平和相互(巣鴨) 三位 百貨店東横
東洋レーヨン(名古屋)

第5回 於 大阪市立体育馆

優勝 東洋レーヨン愛知 二位 東洋レーヨン滋賀 三位 東横
P L ゴルフ

第6回 於 東京都日大講堂

優勝 二位 三位

TOPPAN
 PRINTING
 AROUND THE WORLD
 مطبوعات توبان بارن ورلد
L'IMPRIMERIE
TOPPAN
 REUNIT UN MONDE D'AMITIE

連世界成一体的
凸版印刷
FAMOSOS EM TODO O
MUNDO OS TRABALHOS
TIPOGRAFICOS DA
TOPPAN
世界をむすぶトッパン

日本印刷界ではじめての海外進出を試み香港に凸版印刷(香港)K.K.を設立しました

凸版印刷株式会社

本社／東京都台東区二長町1 TEL (866) 2171 一大代
 サービスセンター／東京都中央区銀座5-5 TEL(572)3341 代
 凸版印刷(香港)K.K. 香港島ノースポイントキングスロード

東京都千代田区有楽町
 第一生命保険相互会社

のびゆく…
 みなさまの **第一生命**

●第一生命は、明治35年9月に創立者矢野恒太の主唱によって、わが国最初の相互組織の会社として設立されました。社名の「第一」という名は「最初の」という意味であります。
 ●その後今日まで60年、「社員」であるご契約者みなさまの利益を第一として、「量より質」「確実 低廉 親切」を標語として経営してまいりました。
 さいわい、みなさまのご理解とご支援をいただき、業績は発展の一途をたどっております。
 ●昭和36年度も、きわめて好調な業績をあげ、本年度は、剩余金のうちから79億2,646万円を配当準備金に繰入みました。
 その結果、本年度の正味掛金はさらにお安くなりました。

スポーツの前後に……仁丹5・6粒

さわやかな刺激と、生薬10数種のききめが、ぐったりした気分をしゃんとさせます。

ゴールドケース付仁丹……100円
 円盤ケース付仁丹………50円

仁丹
ジンタンガム
10~30円

森下仁丹株式会社 社長 森下 泰

より良い製品は
 最新のプロセスが…

これが新しい化学工業の
 スローガンです。
 千代田化工建設は、この新しい時代の要望に応えて、化学工業装置の企業相談から、設計・製作・建設にいたるまで、最新の技術をもって一貫してお引受けいたします。

千代田化工建設
 本社 東京・丸の内 TEL(201)0121(代表)
 工場 川崎・鶴見



1962年型 東レの メンズモード

替ズボンと呼ぶ時代は過ぎ
ました。

ピッカリしまったスリムな
スタイル。テトロンの特長
がたっぷりと生かされてい
ます。ペンシルの名の通り
スマートなスラックスです。

EASY CARE / 手のかからないせんい
東レ|テトロン[®]
ペンシルスラックス

Toray[®]

東洋レーヨン株式会社

第六回全日本実業団剣道大会

組合せ

1



3



優

勝

戦

2

4

6

5

